



旧眉山会館屋上から見た工学部キャンパスの様子

表紙解説

工学部南側の大岡川（助任川の支流）を挟んだ対岸の、眉山会館の跡地に建設されたマンションの12階から撮影した工学部キャンパスの様子です。また、上の写真は、平成8年に眉山会館屋上から撮影された工学部キャンパスです。このときにはまだ生物化学棟が建設されただけで、周りには古い建物が並んでいますが、表紙の写真では、図書館を除いて全ての建物が新築または改修されて新しくなりました。

左下の写真は、昭和50年に当時の情報工学科棟の屋上から撮影された工学部キャンパスのメインストリートです。当時は、3階建ての建物が多く、広々としておりました。右下の写真はほぼ同じ場所から撮影した今のメインストリートです。現在は、旧土木・化学棟の跡地に、光応用工学科棟やエコシステム棟といった背の高い建物が建ち、様相が大きく変わりました。また、旧精密機械工学科棟と電気電子工学科棟は改修を受けて現在も残っていますが、その間には共通講義棟が建設され、風景が変わりました。



情報工学科棟屋上から撮影された昭和50年の風景



知能情報工学科棟屋上から撮影した現在の風景